

○一文が長い文章は次のようにして短くします。

ステップ 1：意味内容に分ける

ステップ 2：文と文の間に接続詞を入れる

ステップ 2.1：必要なら、論理的に不要な文を除く

【練習問題】

次の文章を一文一義の文章に書き直して下さい。

例題

日本の大学生の勉強時間に関する調査によると、94.3%の学生が「1日あたり 2, 3 時間」と解答しているが、その原因については全く不明で、この勉強時間は諸外国での平均値 6 時間より相当少なく、アメリカの大学生の平均値 8 時間とはかけ離れているが、その差がどうして生じているのかの実態調査が急務である。

ステップ 1：意味内容に分ける

①日本の大学生の勉強時間に関する調査が行われた。②その調査によると、94.3%の学生が「1日あたり 2, 3 時間」と解答している。③その原因については全く不明である。④この勉強時間は諸外国での平均値 6 時間より相当少ない。⑤アメリカの大学生の平均値 8 時間とはかけ離れている。⑥その差がどうして生じているのかの実態調査が急務である。

ステップ 2：接続詞を入れる

①日本の大学生の勉強時間に関する調査が行われた。②その調査によると、94.3%の学生が「1日あたり 2, 3 時間」と解答している。③その原因については全く不明である。そして、④この勉強時間は諸外国での平均値 6 時間より相当少ない。さらに、⑤アメリカの大学生の平均値 8 時間とはかけ離れている。⑥その差がどうして生じているのかの実態調査が急務である。

ステップ 2.1：必要なら、論理的に不要な文を除く

①日本の大学生の勉強時間に関する調査が行われた。②その調査によると、94.3%の学生が「1日あたり 2, 3 時間」と解答している。~~③その原因については全く不明である~~（前後の文は日本と外国の大学生の勉強時間について述べて

アカデミックライティング I 補助教材
第 4 回 「一文一義」で書く

いる。その途中に原因について述べるのは不適當)。そして、④この勉強時間は諸外国での平均値 6 時間より相当少ない。さらに、⑤アメリカの大学生の平均値 8 時間とはかけ離れている。⑥その差がどうして生じているのかの実態調査が急務である。

接続関係

順接の接続詞

- ① 付加：そして、しかも、むしろ
- ② 理由：なぜなら、というのも
- ③ 例示：例えば
- ④ 解説：すなわち、つまり、言い換えれば、要するに
- ⑤ 帰結：だから、したがって、それゆえ

逆説の接続詞

- ⑥ 転換：しかし、だが、一方
- ⑦ 補足：ただし

【練習問題】

次の①～⑦を、この順番で{ }内に示された接続表現を各 1 回ずつ用いて、一連の文章にまとめよ。ただし、内容を変えない程度に文は適当に変更してもよい。

{しかし、すなわち、そして、だから、ただし、たとえば、なぜなら}

- ① 論理トレーニングで大事なものは論理的な文章を数多く読むこと。
- ② さまざまな接続表現に注意することである。
- ③ 論理とは言葉と言葉の関係にはほかならないが、それを明示するのが接続詞である。
- ④ 「しかし」という接続詞は多くの場合「転換」を示している。
- ⑤ 「しかし」の前後で主張の方向が変化している場合が高い。
- ⑥ 論理の方向を見失わないためには、「しかし」という接続詞に注意することが必要である。
- ⑦ ときに接続表現は省略されるので、その場合には敏でそれを補って読まねばならない。

参考文献

野矢茂樹：論理トレーニング 101 題、産業図書、2001

アカデミックライティング I 補助教材
第 4 回 「一文一義」で書く

福澤一吉：論理的に説明する技術、SB クリエイティブ、2010

福澤一吉：論理的に読む技術、SB クリエイティブ、2010